

市況スポット情報

2010/3/10
岡藤商事株式会社

	先限引値	前日比		先限引値	前日比
東京金	3,272	14	東京一般大豆	39,530	40
東京銀	51.1	0.8	東京NON-GMO大豆	47,360	130
東京白金	4,636	49	東京とうもろこし	21,020	-230
東京パラジウム	1,359	23	東京小豆	10,950	110
東京原油	45,480	30	東京粗糖	37,310	-1,250
東京ガソリン	54,940	-210	東京アラビカコーヒー	21,260	-60
東京灯油	53,170	20	東京ロブスタコーヒー	14,700	-10
東京ゴム	292.0	-3.1			

東京工業品取引所銘柄は帳入値

【貴金属】

貴金属市場は堅調。金期先は夜間立会いでは3,211円まで軟化していたが、日中立会いは3,250円を回復して始まり、引けにかけて上値を伸ばした。白金期先は夜間立会いで4,506円まで下げる場面があったが、日中立会いは反発して始まると引けにかけて上昇、4,640円にせまって引けた。銀期先は終値で51円回復。ドル円は90円前後の小動き、東京引け時点のスポット価格は金が1126.35 / 1127.15ドル、白金が1605.25 / 1610.25ドルで堅調。

【東京原油・石油製品】

石油市場はまちまち。NY原油は81ドル台半ばでの推移を継続。東京市場ガソリン期先は夜間立会いの軟調から、日中立会いでは反発したが、終値では55,000円を維持できず小幅安。灯油期先は夜間立会いの軟調から反発、53,000円を回復し、前日終値を小幅ながら上回って引けた。原油も小幅高で引けている。NY原油は80ドル回復から伸び悩み、東京市場も上値が抑えられている。

【東京ゴム】

ゴムは期近が小幅高だが期先は軟調。期先は夜間立会いで軟化、日中立会いでは291円を割り込むと反発したが引け間際に上値を削った。期先の重さで当先の順ザヤは縮小傾向。

【東京大豆】

一般大豆は当限を除きしっかり。NON大豆も期先が堅調。シカゴ大豆は期近3月限は夜間取引では動かず、5月限も小動きに留まっている。本日は米農務省が需給報告を発表するが目立った動きは見られず。東京一般大豆期先は39,000円台での小幅保合が続いている。

市況スポット情報

2010/3/10
岡藤商事株式会社

【東京トウモロコシ】

トウモロコシは軟調。シカゴトウモロコシは 357.75 セントと軟調。東京期先は 21,000 円を維持するものの、21,500 円回復からやや軟化。本日は米農務省が需給報告を発表するが、アルゼンチンの生産高の上方修正を見込む向きがある。

【東京小豆】

小豆は堅調。期先は 11,000 円を割り込んでいるが前日からは反発。11,200 円を回復できずに反落すると圧迫が強まる。

【東京粗糖】

粗糖は軟調。NY 粗糖の急落を受け、当限は 2,360 円安、7~11 月限はストップ安(1,400 円安)となり、期先も直近の安値を割り込んだ。

【コーヒー】

アラビカは小動きまちまち。NY アラビカは 130 セントを回復したが、東京期先は 21,000 円を支持に保合が続いている。

【東京為替】

ドル円は 90 円を挟んでの小幅保合、ユーロドルは 1.3600 ドル前後の小動きとなっていたが、15 時以降ユーロ売りが進み 1.3550 ドルに接近している。ユーロ売りドル買いが一服、ドル円は 88 円からの反発が 91 円に届かず 90 円前後の保合継続と、方向感が出にくい状態にある。

17 時 00 分時点ではドル円は 89.98 / 90.00 円、ユーロドルは 1.3547 / 50 ドル、ユーロ円は 121.87 / 91 円。

東京工業品取引所日中立会終了時点で作成しています。

〔商品先物取引に係る留意点について〕

2010年3月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年3月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約32倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号
TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。